

つくば市において農林水産省所管の研究機関が行った栽培試験（令和 7 年 5 月現在）

隔離ほ場試験	一般ほ場試験	作物	導入形質
1991	1992	トマト	ウイルス抵抗性
1993	1994	イネ (キヌヒカリ, 日本晴:16-2)	ウイルス抵抗性
1993	1994	ペチュニア	ウイルス抵抗性
1993	1996	メロン (プリンスメロン)	ウイルス抵抗性
1994	1995	イネ (キヌヒカリ)	低アレルゲン
1995	1996	ダイズ (40-3-2)	除草剤耐性
1995	1996	ナタネ (RT73)	除草剤耐性
1996	1997	イネ (日本晴:21-3, 日本晴:20-2)	ウイルス抵抗性
1996	1997	トウモロコシ (MON802)	害虫抵抗性、 除草剤耐性
1996	2002	トウモロコシ (Bt11 デントコーン)	害虫抵抗性、 除草剤耐性
1996	1996	トウモロコシ (Event176)	害虫抵抗性、 除草剤耐性
1996	1997	トウモロコシ (DLL25-DK566)	除草剤耐性
1996	2003	トウモロコシ (MON810)	害虫抵抗性
1997	1997	トウモロコシ (DBT418- DK566)	害虫抵抗性、 除草剤耐性
1997	1997	トウモロコシ (MON809)	害虫抵抗性、 除草剤耐性
1997		トウモロコシ (MON832)	除草剤耐性
1998	1998	トウモロコシ (GA21)	除草剤耐性
1998	1999	アズキ (AR-9)	害虫抵抗性
1998	1999	キュウリ (CR-29, CR-32, CR-33)	灰色カビ病抵抗性
1998	1999	トウモロコシ (DBT418)	害虫抵抗性、 除草剤耐性
1998	1999	トウモロコシ (DLL25)	除草剤耐性
1999		イネ (LLRICE06)	除草剤耐性
1999	2000	イネ (LLRICE62)	除草剤耐性
1999	2001	ダイズ (A5547-127)	除草剤耐性
1999		ダイズ (GU262)	除草剤耐性
2000		レタス (G17-1-1, G31-2-1)	高鉄含有
2001	2002	トウモロコシ (Bt11 スイートコーン)	害虫抵抗性、 除草剤耐性

隔離ほ場試験	一般ほ場試験	作物と系統名	導入形質
2001	2002	トウモロコシ (1507 系統)	害虫抵抗性、 除草剤耐性
	2001-2004	ナタネ (RT73) (モニタリング・交雑性)	除草剤耐性
	2001-2007	ダイズ (40-3-2) (モニタリング・交雑性)	除草剤耐性
2002	2003	イネ (PE2, PE84)	高光合成
2002, 2004		ジャガイモ (メークイン)	スクロースリン酸合成
2003	2004	イネ (HW1, HW5)	高トリプトファン含量
2003		トウモロコシ (E4497. 45. 2. 14, E4497. 45. 2. 16, E4497. 59. 1. 22, E4497. 71. 1. 33)	害虫抵抗性、 除草剤耐性
2004	2005	イネ (B 系統)	草型改変：直立葉・ 半矮性
2004	2005	イネ (G 系統)	草型改変：半矮性
2005-2006, 2013-2015, 2017-2018 2024	2007	イネ (7Crp#10)	スギ花粉ペプチド含有
	2005-2013	ダイズ (40-3-2) (展示ほ場)	除草剤耐性
	2005-2013	トウモロコシ (Bt11) (展示ほ場)	害虫抵抗性、 除草剤耐性
2007-2008		イネ (7Crp#242-95-7)	スギ花粉症緩和
2008		ダイズ (CV127)	除草剤耐性
2008		ワタ (GHB614)	除草剤耐性
2009-2010		イネ (KA317, KPD627-8, KPD722-4)	高トリプトファン含量
2011-2018		イネ (OsCr11)	スギ花粉症治療
2012-2018		イネ (NIA-OS001-8, NIA-OS002-9, NIA-OS003-1, NIA-OS004-2, NIA-OS005-3, NIA-OS006-4)	複合病害抵抗性
2013-2015		イネ	開花期制御
2013-2018		イネ (NIA-OS007-5)	複合病害抵抗性
2014-2015		イネ (KTA-OS12-AGH, KTA- OS12-GH, NPB-OS12-AG)	開花期制御
2014-2015		タバコ (NT-001)	葉緑体形質転換

隔離ほ場試験	一般ほ場試験	作物と系統名	導入形質
2014-2016		イネ (NICS12-OSKH-RbcAcFBP/SBP, NICS12-OSMR-RbcAcFBP/SBP, NICS12-OSNB-RbcAcFBP/SBP, NICS12-OSNB-UBFBP/SBP)	カルビンサイクル強化
2014-2018		イネ (NIA-OS008-6)	複合病害抵抗性
	2014-2015	ダイズ (Bt11×MIR162×GA21) (試験栽培)	高オレイン酸含有、 除草剤耐性
	2014-2015	トウモロコシ (305423×40-3-2) (試験栽培)	害虫抵抗性、 除草剤耐性
2017-2019, 2021		イネ (NIAS16-OSCas-Gn1a, NIAS16-OSCas-TGW6)	シンク能改変
2018-2019, 2021, 2022		イネ (NIAS17-OSCas/CDA-TGW6-1, NIAS17-OSCas/CDA-TGW6-2)	シンク能改変
2018-2022		イネ (OsNV3)	ノボキニン蓄積
2018		イネ (OsNV2, OsNV4, OsNV8)	ノボキニン蓄積
2019, 2021, 2022		イネ (NIAS18-CDA-Gn1a, NIAS18-OSCas-Gn1a)	シンク能改変
2019-2022		イネ (Os7Crp2)	スギ花粉ペプチド含有
2019, 2020		イネ (Os7Crp1)	スギ花粉ペプチド含有
2019		イネ (PR1-BSR1, ZmUbi-BSR1)	広範な病害抵抗性
2019, 2021		イネ (Ubi7-BSR1)	広範な病害抵抗性

- これまでに行われた全ての栽培試験は、環境への影響が問題になったことはなく、安全に実施されました。
- 上記の遺伝子組換え農作物は、農水省の「農林水産分野等における組換え体の利用のための指針」(平成元年4月20日付け農林水産事務次官依命通知)において認可されたものもあり、「遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律」(カルタヘナ法)への移行措置をとってないため、第一種使用等が出来ないものも含まれます。
- 現在、第一種使用等の承認を受けている遺伝子組換え生物は、日本版バイオセーフティクリアリングハウスの検索サイト (<https://www.biodic.go.jp/bch/>) より参照できます。

